

環境関連科目について

環境問題は、危急の課題として、広く認識されています。本学の理念においても、「地球社会の調和ある共存」という表現で、解決に向けた方向性が示されており、研究・教育・社会貢献の各側面からの寄与が必要とされています。特に、本学で学び、将来社会において活躍する学生のみなさんにとって、環境問題への対応は、様々な形で、必ず求められるものと思います。

しかし、環境問題は、その背景やメカニズムを含め、非常に多くの要素が絡み合ったものであり、正確に問題の所在を理解し、解決に向けた対策を打つことは、簡単ではありません。さらに、様々な情報や視点が存在するため、時に相反する選択肢がある中で主観的・客観的に物事を判断していくことを求められるケースもあるでしょう。

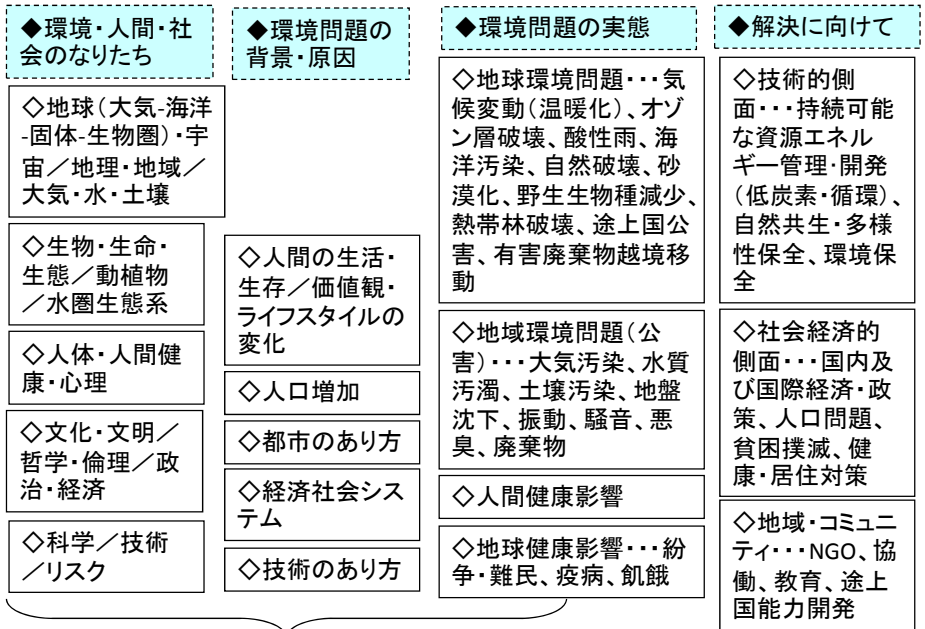
そのような状況で重要と考えられるのが、地球や自然、人間や社会の成り立ちにまで根ざした知識や思考力、それらをベースに環境問題の実態を把握する能力やセンス、そして過去や他の事例を学びつつ環境問題の解決を目指す想いや力などでしょう。

環境問題の捉え方は様々ですが、その基礎から背景、実態、対策までのイメージを図（上方）のよ

うに整理しました。いわゆる環境問題としては、実態や解決に向けた側面がクローズアップされやすいのですが、それらのベースとして、環境・人間・社会の成り立ちがあることを忘れてはなりません。それはまた、本学の教育・研究の幅広さや奥深さが生きる点でもあると考えます。

そのことを意識して、今回、図（下方）に示すとおり、本学の科目の整理を試みました。必ずしも、上の図と対応し、網羅できている訳ではありませんが、大きく、基礎知識（左）と学際的・応用的知識（右）に分けました。関心にあわせて受講する、バランスよく受講するなど、目的にあわせて参照して頂ければ幸いです。

【環境問題の基礎・背景・実態・対策の俯瞰イメージ】



【本学科目の整理】

